

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 2024 年 2 月 1 日

事業所名 あつぷるきっず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令順守している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令順守している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	段差がありバリアフリー化とは言い難い。階段には手すりを設置・昇降時のルールを守るよう支援している。	今のところ事故・ヒヤリハットはない。一対一対応で落下防止に常に努めている。重度心身障害等配慮すべき児童が通所する場合は今後検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		個別支援にふさわしい環境設定をしている。小集団活動では広い教室を利用するなど工夫している。	今後も安心安全な生活空間を維持していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議・朝礼等により業務改善できるよう努めている。	業務の見直しや割り振り等、協力体制が出来つつある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		自己評価に合わせて、フィードバック時にも常に保護者の意向を把握するよう努めている。	保護者の意向をを把握し即時改善できることから進めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価に合わせて、フィードバック時にも常に保護者の意向を把握するよう努めている。	ホームページやインスタグラムで療育についての発信を行っている。今後も支援の質の向上に取り組んでいく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価を取り入れていくことを今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		新人研修・法令で定められた研修以外にも絶えず自己研修に努めている。	会社としても自主的な研修を推奨し、個人としても絶えず研修に努めている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		教室独自のアセスメント評価表を作成している。	アセスメント評価表を元に支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		教室独自のアセスメント評価表を作成している。	アセスメントツールを活用し適切な行動の把握・療育をしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		法令通りに実施している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を絶えず確認しながら支援を行い、室会議等でも確認を怠らない様な話し合いがなされている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		朝礼等で支援記録・振り返りを実施し、支援の検証・改善・プログラムの立案を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		支援の検証・改善・プログラムの立案とともに毎月・毎週の目標を設定。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
Ⅱ	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別サポートではあるが同時間利用者・祝日等を活用して小集団活動を実施している。	祝日イベントの参加者が多く、子ども・保護者共に楽しみにされているので今後も継続していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当が偏らないようにスケジュール表を作成、欠席等を踏まえながら都度調整している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後、おおよび次の日の朝礼時に実施	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録および振り返り記録を作成し、支援の検証・改善に努めている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングより保護者の意見を踏まえて会議にて見直しを検討している。	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管および担当者が電話等での連携に努めている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当する利用者はいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当する利用者はいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後の課題として検討していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		共に活動する機会はないが保育所等訪問支援を実施している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後、積極的に参加できるよう検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やフィードバック・LINEにて活動の状況を適宜伝えている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)の支援を行っている	○		保護者へのフィード バック時や連絡帳・ LINE・電話等でペア レント・トレーニングが実 施できるよう努めてい る。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を 行っている				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約書・重要事項説明書および個別の支援計画にて同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳やフィードバック・LINEにて活動の状況を適宜伝えている	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在は保護者同士の連携は実施できていない。	祝日集団イベント等で保護者参加を試みた。軌道に乗れば今後は保護者同士の連携が図れるよう検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ・インスタグラム・LINEでの発信をしている	動画配信等も今後検討していく
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きロッカーに保管したり室内掲示に細心の注意を払っている	
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		様々な保護者と意思疎通が図れるようにひらがな表示・分かりやすい言葉での説明など合理的配慮を行っている。	子どもへの視覚支援もさらに工夫・充実していく。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行事に保護者参加の機会は設けているのでさらに地域に広げられるよう工夫していきたい。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			保護者への周知が徹底できるよう契約時等での書面交付をしていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		こども参加による訓練も実施している。	今後も引き続き実施していく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に把握している。	モニタリングの際に新規変更等、再確認をしていく。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に把握している。	現在、該当者はいない。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		書面にてのヒヤリハットを作成し共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法令に従い、虐待防止委員会を設置し、職員の研修会を定期的実施している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に十分な説明をし、個別支援計画に記載するなど書面での同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	-----	---------	------------------------------